

静岡県立浜松特別支援学校

静岡県埋蔵文化財センター

出前授業レポート

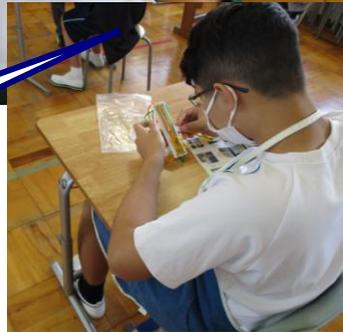
令和4年6月9日（木）

「織る（編む）ということは、どういうことか、体験を通して興味をもつことができました」

織物体験

静岡県立浜松特別支援学校の1～3年生11人が、織る（編む）学習の一環として織物体験をしました。

はじめに織物についての話を聞き、それから織物体験をしました。



がんばっていますね

織物は毛糸を使って、タテ糸とヨコ糸を交互に通して織る“ひらおり平織”という織り方でアクセサリーの腕輪を作りました。けっこう根気のいる作業ですが、みんな夢中になって取り組んでいました。

みんながんばって、きれいな腕輪ができました。



可愛いのができましたね

先生の感想

「生徒が夢中になって取り組むことができました。“完成”“できた”ということに、とても喜んでいる姿が見られました。」



ちょっとご自慢ですね

「できた。楽しかった」「むずかしかったけど、がんばれた」みんなが感想を述べてくれました。

